

かんてつ 通信 貫徹

9月 定例議会報告

No. 45



徹する力。

藤沢市議会議員
おおや 徹

発行日
2020年10月
発行者
藤沢市議会議員
大矢 徹 (おおや とおる)
連絡先
藤沢市鶴沼藤が谷 4-17-5
~302
【自宅】0466-47-8255
【携帯】090-8850-6062
【メール】ohya.toru@gmail.com
ホームページ
<http://www.ohyatoru.com>

1. (仮称)藤沢市パートナーシップ宣誓制度の導入について

令和3年4月施行に向けた「(仮称)藤沢市パートナーシップ宣誓制度」の取組状況が報告されました。この取組の背景には、セクシャル・マイノリティや事実婚など、同性・異性を問わず、パートナーシップである二人が、両者の自由意思により、互いを人生のパートナーとしていても、市営住宅への入居や、医療機関でのパートナーへの病状説明、手術の同意などが認められていません。

一人ひとりの市民がお互いの人権を尊重し、セクシャル・マイノリティ(性的少数者)をはじめとする多様性への理解が進み、差別や偏見のない、自分らしい生き方ができる社会の実現をめざし、パートナーシップ宣誓制度を創設するものです。

この制度については、私たち「民主・無所属クラブ」が制度導入を求めているものです。

2. 令和3年度使用藤沢市教科用図書の新採択について

令和3年度に使用する教科書の採択結果について報告がされ、中学校の歴史・公民の教科書について、これまで育鵬社の教科書が使用されてきましたが、採択の結果、東京書籍の教科書となり、大きく新聞報道がされました。

私は、前回の採択の時も議員で、決定のプロセスの透明性に疑問を感じていました。今回は、実際に教える教員の評価などが結果に反映されており、誰もが納得できる結果であったのではと感じています。

使用する教科書については、教育の内容になるので議員や政治が関与すべきではありませんが、今後も、授業を受ける子どもたちにとって最も適している教科書が使用されることを望みます。

9月議会内容

9月藤沢市議会定例会が、9月1日から10月7日までの日程で開催されました。

主な内容は、専決処分の承認について(新型コロナウイルス感染症関連補正予算)、工事請負契約の締結について(稲荷山橋架替工事)、令和2年度藤沢市一般会計補正予算、令和元年度決算認定などです。

私は、市側が提案した全ての議案に賛成、決算も認定しました。

今議会も、コロナ感染防止対策を実施する中での議会運営となりました。マスクの着用、定期的な換気、半数の議員での審議、答弁する市の理事者側も密にならない最低限の出席とし、ソーシャルディスタンスを確保しながらの議会となりました。

3. 水害避難所の拡充

○秋葉台文化体育館を水害避難所に指定

大規模な駐車場を有し、体育室や観覧席等の広い避難スペースが確保できるため、一般の避難者のほか、車両避難者の受け入れが可能な避難所として開設します。また、ペット同行避難者の専用スペースも確保しています。

想定収容数

一般の避難者	約500名
ペット同行避難者	約100組
車両	約500台

その他、学校施設における教室等の個室スペースの確保、市民の家の活用、民間宿泊施設等の活用をするとともに、以下の水害避難所等の変更を行います。

解除	新設
江ノ島市民の家	江の島大師
やすらぎ荘	荏原湘南スポーツセンター

※やすらぎ荘は、避難生活が長期化した場合などに、入浴等の生活支援施設として活用

4. 医療・福祉応援寄附金の状況

市内医療機関や福祉施設で働く方々を応援する目的の寄附について、9月末で受付終了を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化しているため、受付期間を来年3月末まで延長します。

【寄附の方法】

- (1) 寄付金箱での寄附(本庁舎及び分庁舎)
- (2) 窓口での寄附(福祉医療給付課で受付)
- (3) ふるさと納税ポータルサイトでの寄附

これまでの「さとふる」に加え、10月初旬に新規開設する「ふるなび」、「楽天ふるさと納税」でも実施予定。
※9月30日現在での寄附金額は1,790万1,384円

5. 市長・副市長・教育長の給料削減を継続

5月の臨時会で、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で厳しさを増している市民生活を鑑み、市長(20%)・副市長(10%)・教育長(5%)の給料削減を決定しましたが、この取り扱いについて、議員が実施している報酬及び政務活動費の削減期間に合わせ、来年3月までに延長することとなりました。

なお、市職員の給与については、人事院が官民給与の調査比較をした結果を勧告し、国家公務員の給与が改定された後、その内容に準じて給与改定がされます。10/7に先行してボーナス削減の勧告があり、今後給与についても勧告が予定されています。マイナス勧告が発出されれば、保健所、市民病院、消防など新型コロナの感染リスクが高い職場で働いている職員も含めた給与削減となる仕組みです。

決算討論

令和元年度決算認定にあたり、私が所属する「民主・無所属クラブ」は、賛成の立場で討論をしました。一部を抜粋して紹介します。

【部落差別解消について】

平成28年に成立した部落差別解消推進法は、「現在もなお部落差別が存在するとともに、情報化の進展に伴って部落差別に関する状況の変化が生じている」とした上で、地方公共団体に対しても「部落差別の解消に関し、その地域の実情に応じた施策を講ずるよう努めるものとする」としている。昨今、インターネットを通じた、より悪質な部落差別が顕在化している。ネット上の差別書き込みに対する対策を要望する。

【教員の多忙について】

教職員の「多忙」の原因は「仕事量の多さ」とともに、「人が足りない」ことも原因となっている。教職員の「未配置」の解消に向け、教職員定数の改善や免許更新制の抜本的見直し、学習指導要領の「働き方改革」を踏まえた改訂などを国に働きかけるよう要望する。

【文化芸術について】

湘南台駅地下を、ストリートピアノや壁画やアートを通して交流の広場にしようとする市民団体が活動している。乗降客数も多く、学生も多く利用する藤沢市の北の玄関口湘南台駅の地下空間を、人々が集い楽しめる「親しまれる広場」になるよう、市として積極的な支援をするようお願いする。

【難病について】

「難病患者会」が組織され、会長にはALSの当事者の方が就任されている。難病患者や障害者が単に支援の対象者にとどまるのではなく、共生社会を切り拓く運動の主体となるという意味で非常に重要なこと。家族会の活動への引き続きの支援を要望する。

【妊産婦へのケアについて】

コロナ禍で、実家との行き来もままならないなど、妊産婦は厳しい状況に置かれている。本市は安心して出産できるようフォローしているが、次年度もより一層の支援と「産後ケア事業」の整備を要望する。

【介護者支援について】

介護の問題について、最近は社会構造の変化に伴い「ヤングケアラー」や「ダブルケア」など、新たな課題も浮かび上がってきた。従来の「介護者支援」とは、いわば「より良い介護のための介護者支援」だったが、いま求められているのは「介護者が、介護によって自分の仕事や生活、趣味や学業などをあきらめなくてすむような支援」ということである。

藤沢市が取り組んできた「家族介護者等(ケアラー)支援」は、いま全国的にも高く評価されている。今後も、そのような視点に立った「介護者(ケアラー)支援」を積極的に進めていくよう要望する。

【オンライン学習による健康被害について】

IT機器の整備やオンライン学習の推進は、重要な課題である。しかし同時にオンライン学習を進めるに際しては、改めて子どもたちの健康を守るためのガイドラインの策定と周知について徹底を要望する。

その他報告

【昆明市からの支援について】

藤沢市の友好都市である中国雲南省昆明市から、本市と湘南日中友好協会に対して、9/25に新型コロナウイルス感染症支援物資の寄贈がありました。寄贈されたのは、医療用マスク20,000枚、N95マスク3,000枚、赤外線体温計100台、医療用防護服500着です。

藤沢市も新型コロナウイルス感染症が発生し始めた当初の2月に昆明市にマスク、ビニール手袋を送りましたが、このような助け合いができるのも友好都市であるからこそだと思います。今後もさらなる友好に向けて私も関わっていききたいと思います。



「大新」五目うまにそば

いつもは、私のお気に入りのお店の紹介をしていますが、コロナ禍で、いつものように外回りや外食ができていません。そのため今回は、次に食べたらこれ!というものを紹介します。藤沢駅南口の「大新」の五目うまにそばです。寒くなってきたので、早く食べたい(-_-);



おおや 徹

検索



ホームページ
のQRコード

貫徹のバックナンバー
はこちらから→

